

そらち生活サポートセンター (生活困窮支援の現場)



特定非営利活動法人
コミュニティワーク研究実践センター

1 「生活困窮者自立支援制度」って なんで生まれたの？

一般的には！

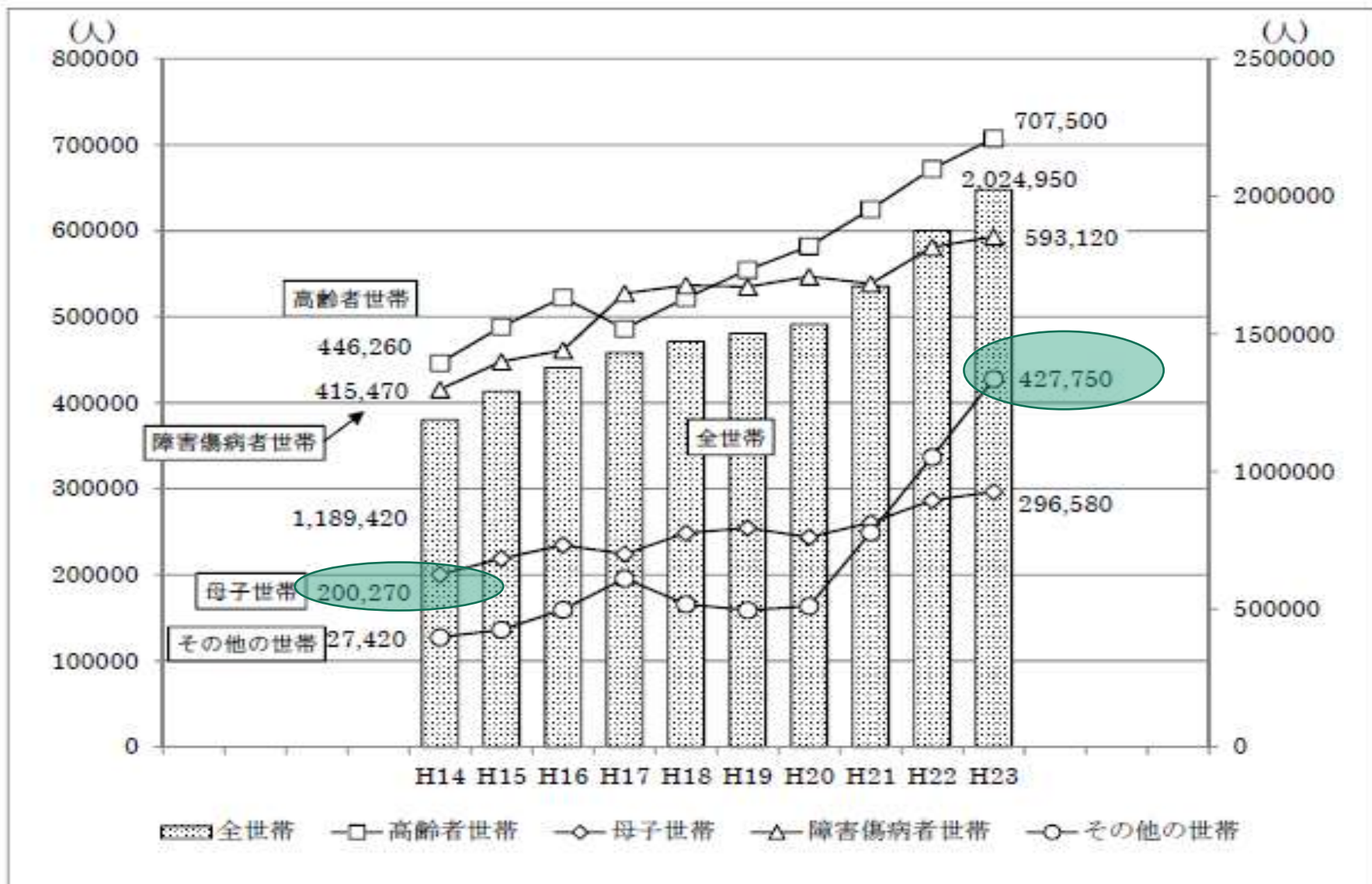
制度創設の背景と生活困窮者自立支援法の成立・施行

わが国では、1990年代のバブル経済の崩壊以降、構造的な景気低迷が続き、加えて平成20(2008)年に発生した、いわゆる「リーマンショック」と呼ばれる世界金融危機の影響も大きく、安定した雇用の揺らぎや所得の低下により経済的な困窮状態に陥る人々が増加しました。同時に、少子高齢化の進行や、単身世帯、ひとり親世帯の増加など世帯構造の変化、家族、職場、地域社会におけるつながりの希薄化が進むなかで社会的孤立のリスクが拡大し、また、貧困の世代間連鎖といった課題も深刻化しています。

こうした状況のなか、最後のセーフティネットである生活保護制度における自立助長機能の強化とともに、生活保護受給者以外の生活困窮者に対する、いわゆる「第2のセーフティネット」の充実・強化を図ることを目的として、平成25(2013)年12月に生活困窮者自立支援法が成立し、平成27(2015)年4月から施行されています。

全国社会福祉協議会HPより

統計からみると！



(注) 1 厚生労働省「被保護者全国一斉調査」による。
 2 世帯類型別被保護者数は各年度7月31日現在のものである。

その他の世帯って？

病気・障がい、高齢、母子世帯ではない世帯。

経済的困窮が問題だけ？

地域のおじさん
たちから出
てきたキー
ワード

ぷー太郎

フリーター

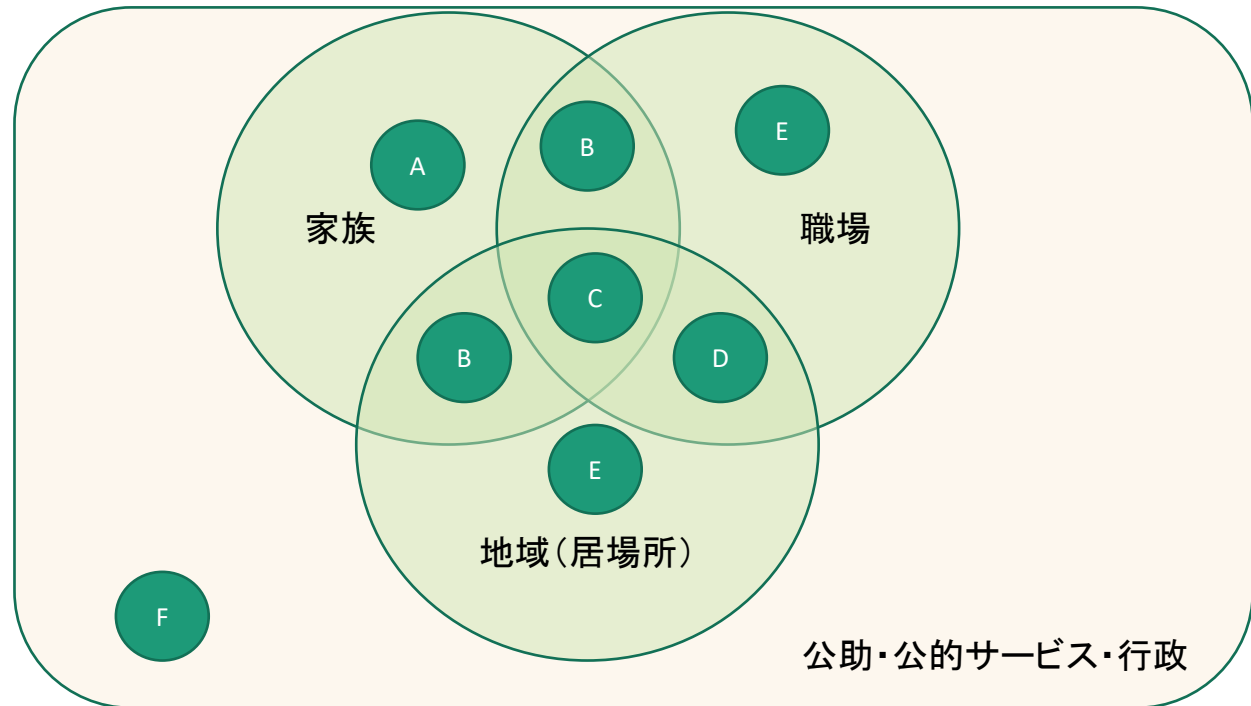
ニート
(NEET)

ひきこもり

つながりの貧困

社会的困窮

社会的困窮を所属(存在)する場と相談できる関係を図解してみると！



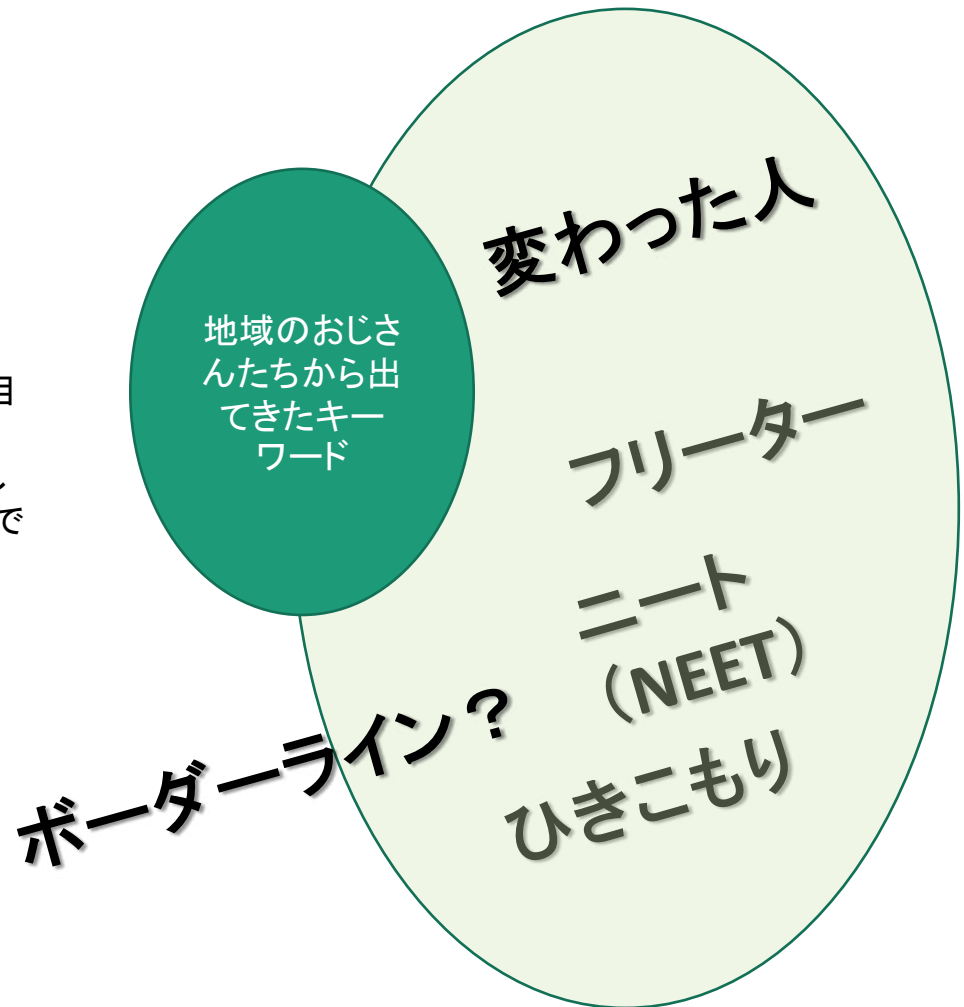
G

2 生活困窮支援の相談窓口を訪れる人たちって？

つながりの貧困が原因で、
他人との関係をうまく作る経験が少なく、
結果、自己理解もうまくいかず、相談できる相手もおらず、
他人のせいや自分のせいにして、どんどんしんどい状況になっていく状態になっているんですよね。

他者理解と自己理解

病気・障がいではない？



生活困窮支援の相談窓口を訪れる人たちって？（地域特性）

空知の場合

炭鉱労働がなくなった弊害 肉体労働の年齢の課題

農村の閉鎖性

ベットタウンとしての課題

そらち生活サポートセンター：平成26年～9年間実施

利用登録延べ896人

○自立相談支援事業

(空知総合振興局・6市)

月形事業所内(そらち生活サポートセンター)を拠点に、空知管内6市14町の対象エリアにて相談を受け付けた

○対象者の範囲：14町6市

空知総合振興局(14町)・赤平・芦別・歌志内・滝川・三笠・美唄在住 の生活困窮者

◇特徴

「フリーダイヤル」

「訪問支援」

「同行支援」

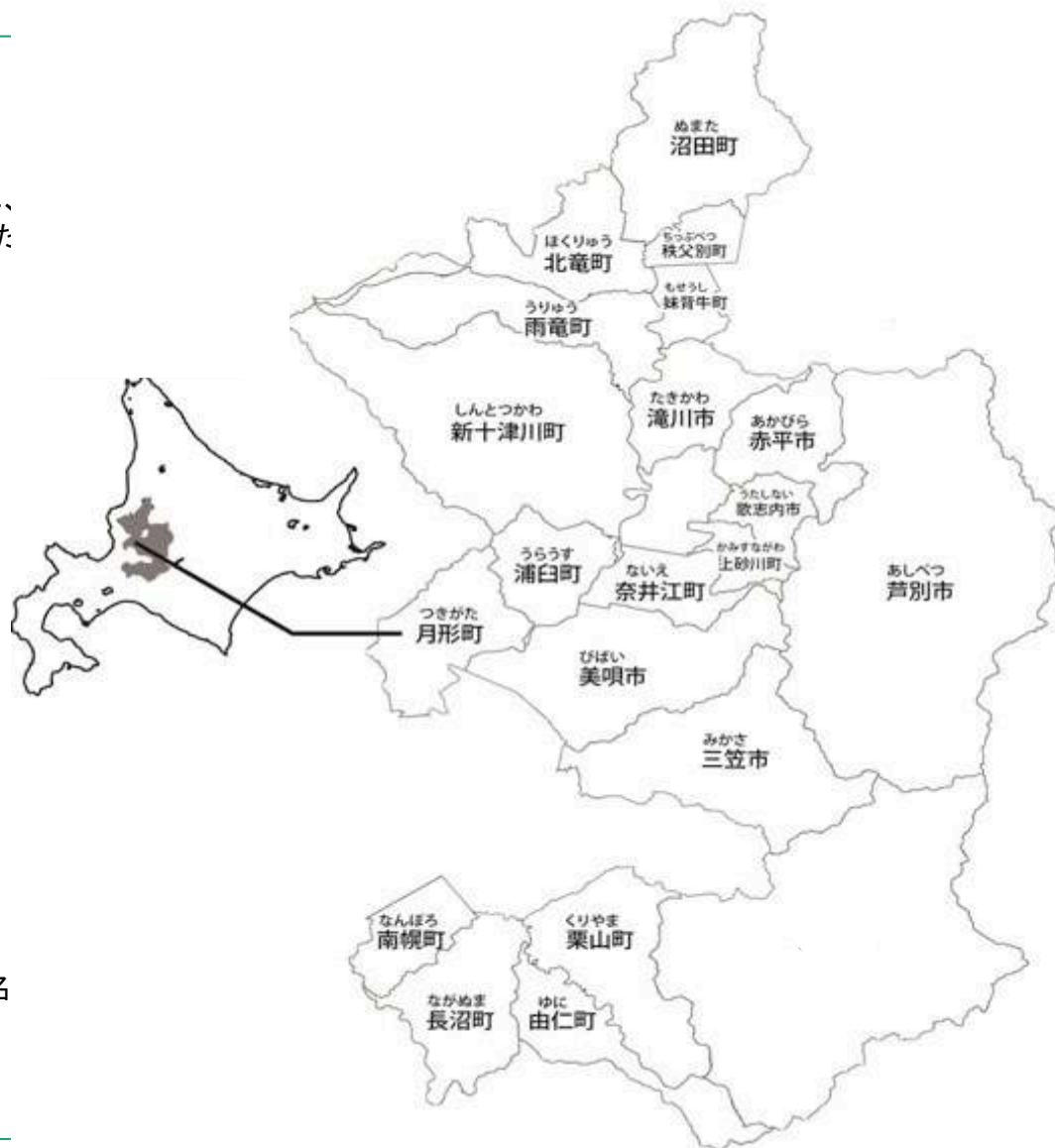
「ジョブクラブ」

◇実績(令和3年度)

全相談件数614件(内新規382件)

相談支援の結果：就労者数41名・増収者数38名
借金滞納整23名・住居確保11名

○職員者人数：9名



○被保護者及び生活困窮者就労支援・就労準備支援事業(美唄市)

生活保護受給者、そらサポ相談者の方を対象に、「就労」に向けて気持ちや体の準備を行うことを目的に、様々な作業体験を実施した。

◇実績(美唄市就労準備事業・ジョブクラブ)

実施内容:羊毛の製品化・団地清掃・田植えごみ上げ・おもちゃかぼちゃの収穫・まき割り作業業・除雪作業など

実施回数(3年度):63回/延べ参加者数:268人



←おもちゃかぼちゃの収穫作業

除雪作業→



○家計改善支援事業(芦別市)(北海道・空知地域)

芦別市・空知地域のそらサポ相談者の方を対象に、家計管理等の相談に対応した。

◇実績(3年度) 5名(芦別)、6名(空知地域)

空知総合振興局管内14町の現在の対応状況10月末時点

	相談件数(昨年度からの継続含む)	今年度新規
14町以外	18	14
月形町	23	7
浦臼町	5	0
奈井江町	12	2
上砂川町	6	1
新十津川町	8	2
雨竜町	2	0
北竜町	4	0
妹背牛町	4	0
沼田町	3	0
秩父別町	0	0
栗山町	29	10
南幌町	41	5
長沼町	38	15
由仁町	14	8
計	207	64

コロナ過での支援実績の推移：令和元年～4年

各年度8月末時点の実績比較

14町	相談件数	今年度新規	支援の状態			
			支援予定	支援中	フォローアップ	支援終了
元年度	92	55	9	25	12	46
2年度	103	58	23	34	5	41
3年度	154	70	17	120	3	29
4年度	191	59	25	138	6	21

* 都市部で影響を受けやすい傾向

6市	相談件数	今年度新規	支援の状態			
			支援予定	支援中	フォローアップ	支援終了
元年度	96	54	14	45	4	33
2年度	179	89	26	90	11	52
3年度	271	127	16	161	7	37
4年度	323	61	23	250	14	36

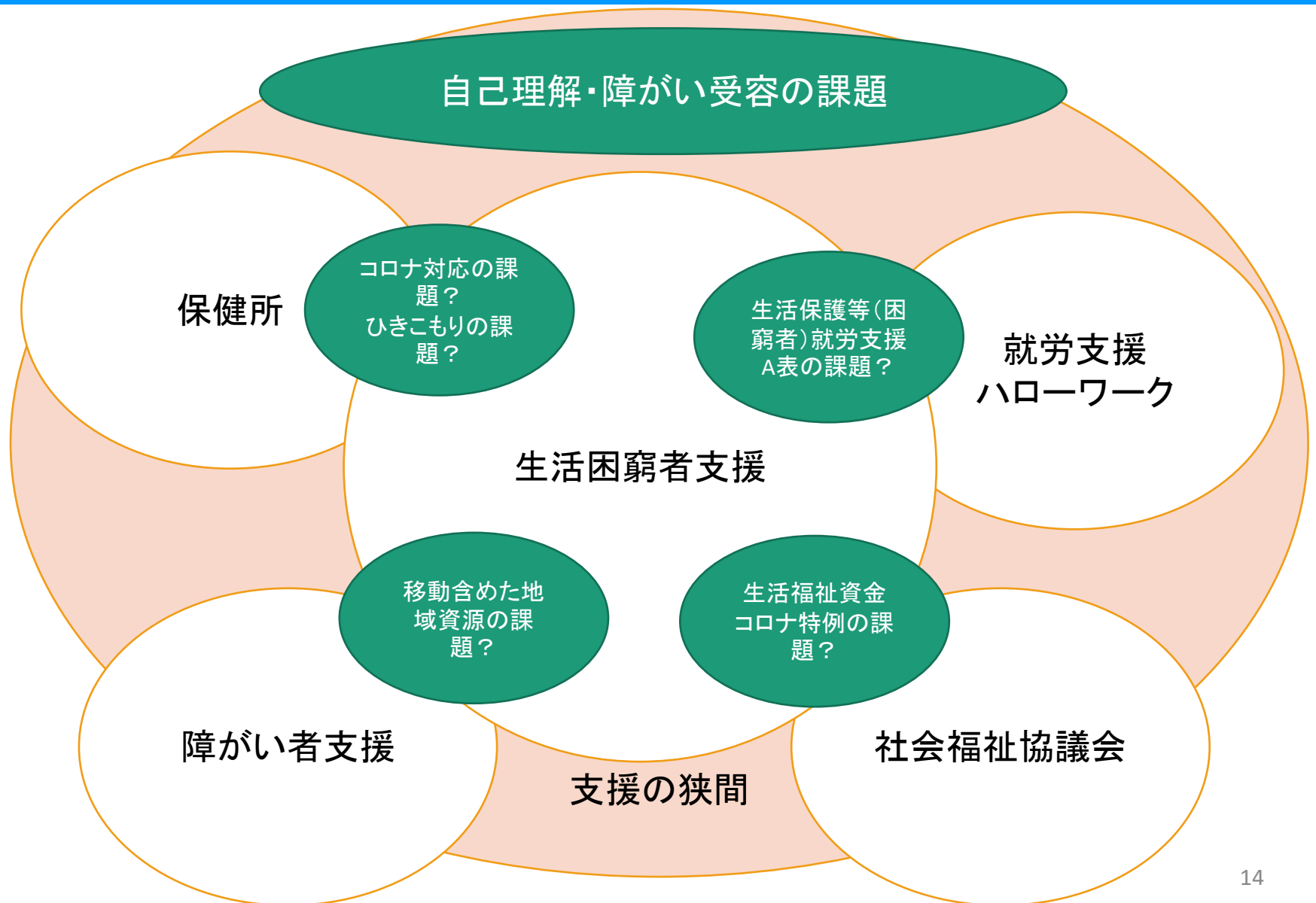
14町	当初相談時の世帯等状況					当初相談時の状態					
	ひとり親		障がい者			ひきこもり	仕事	住居	借金	滞納	家計管理
	親	子	本人	家族							
元年度	2	1	8	2	11	42	23	16	10	11	
2年度	1	1	12	2	8	56	18	17	17	19	
3年度	3	5	26	4	8	115	25	15	16	19	
4年度	8	2	18	6	9	147	26	19	18	34	

6市	当初相談時の世帯等状況					当初相談時の状態					
	ひとり親		障がい者			ひきこもり	仕事	住居	借金	滞納	家計管理
	親	子	本人	家族							
元年度	2	2	10	5	15	62	21	17	21	19	
2年度	5	2	22	12	20	116	57	33	41	54	
3年度	7	3	15	6	9	145	33	31	39	61	
4年度	10	1	41	18	18	263	42	33	38	73	

1 4 町	支援成果					
	就労	就労 (有期)	増収	住宅 確保	借金整理	滞納整理
元年度	10	3	13	1	3	2
2年度	7	5	15	4	1	1
3年度	4	3	9	5	0	1
4年度	7	6	11	2	1	0

6 市	支援成果					
	就労	就労 (有期)	増収	住宅 確保	借金整理	滞納整理
元年度	11	4	14	3	0	4
2年度	21	3	16	4	2	3
3年度	12	0	11	2	3	7
4年度	13	7	23	2	4	9

連携する課題（支援の狭間をどう考えるか）



3 それぞれの相談機関で受けているこんなすごさを持っている人たち。(強みと弱みについて)

「岩見沢市生活サポートセンターりんく」における無料職業紹介のご案内パンフより

りんく 仕事に関する相談にのり
就労支援を行っています

働くことに
前向きになれない **理由とは？** 何の相談もなく
突然辞めてしまう

企業様 働く現場ではこのような
悩みがあると伺いました

様々な事情により、思うように働くことが
難しい方が相談にきています

- ・卒業後も自宅に引きこもっていた
- ・短期間で転職を繰り返す
- ・離職期間が長期化

支援の現場では
こんな悩みがありました

- ステップアップしてきたが・・・
- ・就労への「あと一歩」が踏み出せない
- ・仕事を継続することが出来ない



そらさぽの事例より

①ひきこもり状態の若者(男性20代後半)、何でも屋から農家さんの出面さんに！
春夏秋は農家、冬は家で筋トレ。

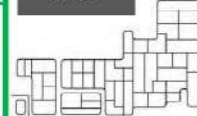
農家さんの重要な戦力。町内の他の業種からの引き抜きはあるが、かたくなに出面さんを継続中。生きがいは、親と自分の納税関係の借金を少しづつ返すこと。

当初、世間話が苦手だったが、現在は自分から声をかけるようになっている。

②アパートから退去勧告を受け、住み込みの仕事へ。昼夜逆転・足腰等の故障もあり住み込みの軽易な農作業も難しかった。が、人がなかなか見つからなかった役場の夜警を始める。夜は強かった。

4 地域で暮らす取り組みへ





- 障害特性に応じてチームを編成し、野菜生産から漬物製造・販売までを一貫して行うことで、通年で障害者の作業を安定的に創出。地域における先導性・モデル性の高い農福連携の取組を行っている。

基本情報

- 所在地：北海道月形町
- 団体名：特定非営利活動法人 サトニクラス
- 選定表彰：「わが村は美しく－北海道」第9回コンクール大賞
(主催：国土交通省北海道開発局)
- 主力商品：漬物、味噌、米麴、乾燥野菜



取組の概要

- 就労継続支援A型事業所「サトニクラス醸房」を運営。知的・精神・身体障害を持つ7名の利用者が、約1haの農地及び加工場で、野菜生産や漬物製造等を通年で行うほか、月形町内外の農家7戸に施設外就労し、水田の除草や野菜の収穫等に従事。
- 職業指導員の見立てにより、障害特性に応じて1組2～3人のチームを編成。また、漬物製造工程を細分化し、利用者を割当て。
- 農林水産省の交付金を活用し、乾燥野菜の開発、農業者が必要とする労働力の調査、障害福祉の知見を有する農作業指導者の育成など、取組拡大の努力を継続。



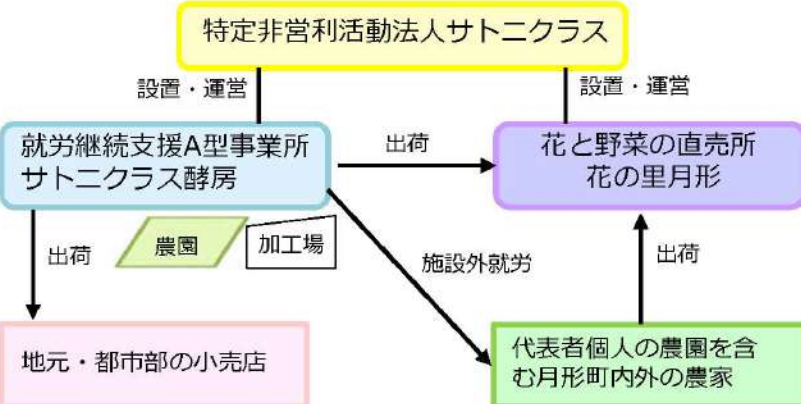
農作業の様子



漬物の製造



体制図



取組の成果

- チーム作業により、収穫適期の野菜の見落としが防止されるなど、作業の正確性が向上し、職員による事後確認ややり直し作業が減少。
- 漬物製造工程の細分化により、生産性が向上。製造量は、開始当初の200パックから2,000パック（令和元年度）へと10倍に増加。
- 令和元年には、農福連携の取組が先導性・モデル性の高い活動と評価され、北海道開発局主催の「わが村は美しく－北海道」運動第9回コンクールにおいて大賞を受賞。

所在地 ▶ 北海道樺戸郡月形町字当別原野420-9

連絡先 ▶ TEL:0126-35-1235 E-mail:npo@satoniclass.com

 ウェブサイト ▶ <https://www.satoniclass.com/>

【取組のプロセス】

平成23年

きっかけ

里山的環境が残る月形町で、地域の福祉法人や都市住民の力を合わせたコミュニティを創り、「里に暮らす」ことを継承したいとの思いから、NPO法人を設立し、札幌市からニートを受け入れた。

平成26年

サトニクラス醸房の設置・運営を開始

- 平成26年に就労継続支援A型事業所「サトニクラス醸房」を設置し、障害者就労を開始。

平成27年

地域を巻き込んだ農福連携の取組を本格化

- 平成27年に「つきがた農福交流推進協議会」を設立し、生活困窮者自立支援法に基づく相談機関「そらち生活サポートセンター」（月形町）と連携。
- 平成27年に花と野菜の直売所「花の里月形」を開店するとともに、乾燥野菜の商品開発や農家における労働力の需要調査を実施するなど、工賃向上のためにソフト面での研究を実施。
- 平成29年から、「月形農福連携センター」など月形町内の2団体と、農福サポーター派遣や農泊などでコラボ事業を展開。

令和元年

「わが村は美しく-北海道」第9回コンクールで大賞を受賞

- 農村景観の保全、地域における人の交流及び特産物の創出という観点から、農福連携の取組が先導性・モデル性の高い活動と評価され、北海道開発局主催の「わが村は美しく-北海道」運動第9回コンクールにおいて大賞を受賞。

今後の
展望

里の暮らしを、すべての人に…

- 農業文化や食文化を中心とした、里の暮らしの豊かさを未来に繋ぐための活動に力を入れていく。地域固有の技術や生活の知恵を継承し、就労に課題を抱える様々な人材を受け入れ、共に暮らし、働くことによって、里の暮らしの持続的な発展に貢献する。



除草作業



収穫作業



直売所の様子



令和元年「わが村は美しく-北海道」運動コンクールで大賞受賞



特定非営利活動法人

サトニクラス